

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	○利用者の高齢化や重度化に伴うケア体制の整備・構築。 ○終の棲家としての看取りのケアは生活支援の延長線上の「自然な形」として捉え利用者や家族の希望に沿い対応していきたい。	終末期や緊急場面を具体的に想定し対応方法の熟知を図り柔軟で迅速な対応に努める。	①定期的にシミュレーションを行い全職員が内容や流れを把握し、いざという時に適切な行動がとれるよう確認、方法を徹底していく。 ②状況の変化に伴った組織的な対応や管理がスムーズに成されるようマニュアルを整備する。	12ヶ月
2	10 (6)	24年度はGH独自の家族会は開催できなかったため25年度は家族会(親睦交流会)を企画し家族の意見を運営に反映させていきたい。	利用者・家族が職員に意見・不満・苦情を表せる機会を設け、顔の見える関係作りを構築していく。	①利用者・家族の意見・不満・苦情を前向きに受け留め運営に反映させていけるよう取り組む。 ②家族会(親睦交流会)を企画・開催し、より一層の理解と協力を求め、信頼関係の構築を図る。	12ヶ月
3	2 (2)	併設施設(老健)の行事やイベント、慰問等では地域との交流は多いがグループホーム独自の地域や馴染みの人達との触れあう機会を作っていきたい。	馴染みの関係を継続し、地域とつながりながら暮らしていく支援を積極的に考え取り組む。	①馴染みの人達との交流を兼ねた帰省の支援、外出の支援、故郷探訪 ②交流会の企画と開催 ③地域の活動への参加(地域のお祭り、体育祭、クリーン作戦等)	12ヶ月
4	4 (3)	活動報告や情報交換にとどまらず、市の担当者や地域の代表者等と会議以外でも行き来のできる関係を築いていきたい。	サービスの向上に活かせる運営推進会議の開催と充実を図る。	①運営推進会議の意義や役割を十分理解していただき、地域力を活用し、運営やサービスへの取り組みに対する協議をしながら、一緒に解決を図っていくよう努める。 ②制度的な方向性や方針、事業所の実情やケアサービスへの取り組みについて折に触れ伝えていく。	12ヶ月
5	35 (13)	○災害を想定した実践的な訓練の実施 ○地域等の協力体制の具体的な整備 ○災害に備えた備品等の準備	昼夜を問わず利用者が安全に避難できる支援や協力体制を整え、必要物資を準備する。	①災害を想定した実践的な訓練を定期的実施する。 ②消防署・警察署・地域住民等との連携を図り支援体制を整備する。 ③食料・飲料水の備蓄や防煙や防寒等の備品を準備しておく。	12ヶ月